

臨床研究テーマ：「医用画像の診断に関する包括的な後ろ向き研究」

放射線診断科責任者：松田 出

概要：

関東労災病院においては診療上の必要性から各種画像診断が施行され、診療情報として記録・保存されている。各種画像検査の臨床的有用性については過去の知見が蓄積されてきているが、いまでも偶発的に発見される疾患や異常所見は少なくない。また、未だ意義の確立していない副所見が発見されることもある。また画像検査機器は各々進歩が続いており、特定の疾患の質的診断や病気診断において従来確立されている以上の診断情報が得られることもある。

本研究では、本院の過去の画像検査結果を後ろ向き、非介入に解析する。それにより、画像診断に有益な知見を抽出する。

※本研究の研究対象として、対象疾患の診断のためおよび比較のために、当院で診断目的で施行された過去の画像検査データを使わせていただいております。研究は個人のプライバシーを侵害しないよう、

1. 院内の医療関係者が院内の画像読影専用端末上で行うか もしくは
2. 画像ファイル内のメタデータをすべて消去して厳密な匿名化を行うかの方法で行っております。

もしこのような画像情報の利用にご承諾しかねる方は、お手数ですが matsudaizuru★kantoh.johas.go.jp(★を半角@にしてください)までお知らせいただけますようお願い申し上げます。